

Dinomyrmex gigas

(Latreille, 1802)

ギガスオオアリ

東南アジアの熱帯雨林にすむ夜行性の巨大アリで、広がったコロニー同士は、頭の大きな大型働きアリによる儀式的なトーナメントで境界争いを決着させます。



写真： Jonghyun Park, CC BY 4.0

ひと目でわかる情報



巣の温度
22-26 °C
巣の中



巣の湿度
70-90 %
巣の中



休眠
不要



結婚飛行
まだデータがありません
雨のあと



働きアリ
18-25 mm
大型働きアリは最大30 mm



女王
30-32 mm
女王は1匹



コロニーの規模
まだデータがありません
成長速度：普通

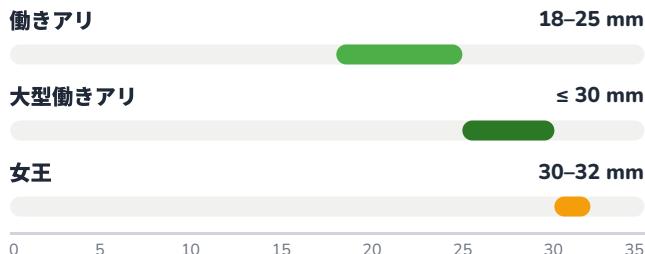


脱走リスク
中程度
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

1年をひと目で



同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

1. 自然再現型のセットアップ
2. Ytongの巣
3. 木製の巣

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ✓ 休眠の管理が不要です
- ⚠ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

飼育者からのメモ

ヒント

1つのブロックではなく、つながった複数の巣を計画しましょう。野生では、コロニーは行列でつながれた、多くは地下にある複数の巣に広がり、女王アリは中心の巣にいます。ドイツの種のデータベースは、必要なスペースを極端だと説明しています。

注意

暑くするのではなく、ほどよく暖かく、非常に湿度の高い環境にしましょう。査読を受けた唯一の飼育事例では、一定の穏やかな温度と非常に湿った空気のもとで石膏の巣が使われ、最初の働きアリまで育てた飼育者も暗くて湿った容器を使っています。もっと暖かい巣を勧めるショップもありますが、この夜行性の森のアリは暑さに弱いと警告するショップもあります。